

## (2) 改良普及課

### ア 普及指導活動の方針

本県の総合計画「～千葉の未来を切り開く～『まち』『海・緑』『ひと』がきらめく千葉の実現」の実現に向けて策定された「千葉県農林水産業振興計画」（令和4年3月）及び香取地域の農林業振興計画である「香取地域農林業振興方針」（令和4年3月）の上位計画との整合性を取りつつ、推進に当たっては、関係機関と連携し、香取地域の主力品目の振興、地域を支える多様な担い手の育成・確保を進める。

特に、振興方針の重点施策として設定してある「露地野菜産地の維持・強化のための規模拡大経営体の育成」については、香取地域の主力品目であるさつまいもの振興をグループを超え広域で取り組み、一元集出荷場を核とした労力対策や品質向上、企業的な大規模さつまいも経営体の育成を図り、産地の維持強化を目指す。また、「県内一の水田農業を担う大規模経営体の育成・水田基盤整備と新たな担い手の育成」については、水田農業を担う集落営農の組織化・大規模水稲経営体の経営改善を目指し、スマート農業の導入、生産コスト低減対策の普及、経営所得安定対策、農地中間管理事業等の施策を活用した農地の集約化を進める。「自給飼料の安定生産と収益力の高い畜産経営の育成」については、WCS 用稲等の自給飼料の安定確保と生産拡大を進めると共に、スマート農業等の導入、若い経営者や後継者の資質向上を図り、収益力の高い畜産経営体を育成する。

すべての課題において、積極的に担い手育成の取組支援を行い、スマート農業の現地導入に向けた活動を重点的に展開していく。

### イ 活動体制

普及活動体制は、普及活動を迅速かつ効果的に展開するため地域グループを基本に、担い手、各専門チーム、課題ごとの推進チーム等の体制をとり、課内全体として総合力を発揮して取り組む。また、普及活動を円滑に進めるため香取農業事務所内の各課、市町、農業協同組合、農業団体、試験研究機関、関係農業事務所等の関係機関との地域活動体制を強化し、普及指導活動を展開する。

### ウ グループ別の方針

#### (ア) 北部グループ

香取市佐原地区・小見川地区及び神崎町の経営耕地面積の約85%を占める水田地帯では、基盤整備を契機に新たな集落営農組織が設立された。引き続き組織の運営支援や水稲及び高収益作物の安定生産を進め、他地域へも営農ビジョン作成や組織化のノウハウを生かした集落営農の推進を図る。また、農地中間管理事業を活用した農地集積が進んでおり、さらなる作業効率向上を目指し、農地集約を検討する体制づくりやスマート農業技術の導入拡大を推進する。

畑作地帯の主要品目であるさつまいもは、広域となったJAかどりの施設の活用による共販体制の強化を図る。また、さつまいもの規模拡大に積極的な経営体も現れており、関係機関と連携し畑地においても担い手への農地集積を図る。好調な販売環境の中、連作による品質低下や土壌病害の発生が懸念されているため、

地域で連携した輪作や土づくりを推進し、健全な苗の供給体制を検討する。他の園芸品目では、果樹で新規栽培者の定着や参入を促進するため、新たな栽培技術の導入を図る。

畜産経営においては、スマート農業を活用した効率的な自給飼料生産の推進とコントラクターの再編に取り組む。また、WCS 用稲での茎葉型品種導入による作期分散や安定した自家採種技術を検討する。

#### (イ) 西部グループ

香取市栗源地区は、畑作を中心とした野菜経営がおこなわれ、その中でさつまいもは主要品目として位置づけられている。さつまいも産地の維持強化を目指し、JA 洗浄選果施設の利用拡大を含め省力化対策の構築、品質向上技術やじゃがいもやにんじん、緑肥作物等の輪作体系の確立に取り組む。

多古町の水田地帯については、栗山川沿岸及び借当川沿岸の地域を対象に水田基盤整備と集落営農体制確立を目指し活動を展開する。一方の畑作地帯については、やまといも、さつまいも等の根菜類を中心とした野菜栽培がおこなわれ、やまといもは、県内一の産地として活性化を図るため、収穫機の開発等省力化と輪作等による品質・収量の向上で規模拡大経営体の育成を図る。

酪農及び養豚についても、経営基盤強化や耕種農家との連携による適切な家畜排せつ物の利用体系で規模拡大経営体の育成を進める。

#### (ウ) 東部グループ

基盤整備が予定されている香取市黒部川左岸第三地区においては、集落営農組織及び大規模個人経営体を水田担い手として育成することにより地域の営農体制を確立する。また、東庄町においては、水田利用の効率化に向けた農地交換の仕組み作りを行い、担い手への農地集約を進める。

東庄町のこかぶを出荷する4組織の担い手の経営能力向上による規模拡大及び安定生産技術の確立を進めることにより、こかぶ産地の維持・発展を目指す。

花きやいちごの施設園芸については、若手経営者や後継者の技術改善及び経営能力向上により経営の維持発展を目指すと共に、共通の課題解決に取り組む研究会組織の育成を行う。

### エ 次代の地域農業を支える青少年・女性農業者の育成の方針

プロジェクト学習などの段階的な研修や GAP・スマート農業・経営計画の実践を支援し、課題解決できる青年農業者を育成するとともに、相互交流による担い手の定着を図る。また、地域農業・産地力アップに向けて主体的に経営や地域に参画できる若手女性農業者を育成する。

# 香取地域の農業の振興

香取農業事務所改良普及課

## 地域を支える多様な担い手の育成・確保

- 1 経営の意思決定ができる青年農業者の育成  
【農業経営体育成セミナー受講生 35名、スキルアップ研修受講生 15名】  
・セミナー修了者：16名→28名
- 2 主体的に経営参画する女性農業者の育成  
【キャリアアップ研修参加者 24名、かとり農業女子ネットワーク会員 43名等】  
・キャリアアッププランを実現できる女性農業者：0名→5名

## 水田をフル活用した水田農業経営の安定化

- 9 ④ 集落営農の推進および新規集落営農組織の育成  
【新規集落営農組織、一ノ分目新田地区、集落営農推進地区】  
・新規集落営農組織数：7組織→8組織
- 10 水田基盤整備の推進と集落営農組織の育成  
【栗山川沿岸基盤整備推進地区9地区】  
【借当川沿岸土地改良区1地区】  
・営農組織設立：1組織→2組織
- 11 ④ 集落営農体制の確立及び地域担い手の経営発展  
【黒部川左岸第三地区 3地区】  
【東庄町桁沼地区の人・農地プランの中心経営体 23戸】  
・機械・農作業を共同化する計画を作成した組織：1組織→2組織
- 12 ④ 水田大規模経営体の経営安定と水田農業の効率化  
【10ha以上の水田農業経営体 133戸】  
・20ha以上水田農業経営体：45戸→49戸

## 力強い園芸産地づくり

- 3 ④ 一元集荷場を核としたさつまいも共選共販体制の強化  
【JAかとりさつまいも生産者 288戸】  
・さつまいも販売金額：21.8億円→23億円
- 4 ④ 産地を担う大規模さつまいも経営体の育成  
【大規模さつまいも経営体 54戸】  
・対象経営体さつまいも栽培面積：338ha→360ha
- 5 新規品目導入や規模拡大によるやまといも産地の維持  
【JAかとり多古町園芸部大和芋部会 49戸】  
・5ha以上栽培者の合計面積：76ha→80ha
- 6 こかぶを主体とした露地野菜産地担い手の育成  
【東庄町こかぶ経営体 62戸】  
・作付面積を拡大した経営体数：0戸→2戸
- 7 ④ 技術改善に取り組み経営維持発展する施設園芸担い手の育成  
【花き経営体 17戸、いちご経営体 13戸】  
・技術・経営改善に取り組み販売金額または単位収量が向上した経営体：0戸→2戸
- 8 園の若返りによる果樹産地の維持  
【香取果樹組合 4戸、佐原南部梨組合 7戸、佐原水郷梨組合 11戸、いちじく研究会 6戸】  
・ナシ改植実施者：2戸→4戸

## 畜産経営の体質強化

- 13 自給飼料の安定確保と生産拡大  
【香取市耕畜連携農業推進協議会会員、香取酪農機械利用組合、多古町粗飼料生産組合等】  
・畑地利用飼料作物栽培面積：239ha→250ha
- 14 ④ 収益力の高い畜産経営体の育成  
【搾乳牛 30頭以上の酪農経営体 30戸】  
【母豚 80頭以上の繁殖一貫養豚経営体 30戸】  
・規模拡大農家：0戸→2戸



農業経営体育成セミナーによる担い手の育成

香取農業事務所管内農業産出額 (2019年)

